

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10689001				
授業名	家族社会学	形態	講義	単位	2
担当教員	青柳 涼子				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	火曜1限		
授業目的	少子高齢化が進むなかで、現代日本の家族はさまざまな問題に直面している。本講義のねらいは、現代日本の家族および家族をとりまく社会状況について理解を深めるところにある。				
授業内容	家族に関する基礎概念や主要理論について解説するほか、未婚化、少子化、核家族化、小家族化、子ども虐待、高齢者介護といったトピックスを取り上げながら、家族の現状と家族が直面している諸問題を戦後の社会構造の変化や社会のグローバル化等と結びつけて考察していく。				
到達目標	家族社会学における基礎概念や主要理論を理解することができる。統計資料等を根拠に家族の現状や変化を分析することができる。グローバル化する社会のなかで多様な価値観に支えられた家族の存在を認識し、彼らが直面している課題と支援について考えることができる。				
ディプロマポリシーとの関連性	＜コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	基本的には講義形式の授業を行うが、アクティブラーニングの手法（ペアワーク、ディスカッション等）の手法を活用する。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	事前事後学習課題および授業内試験の成績で判断する。授業を欠席し授業内試験を受けられなかった者には個別で対応する。				
評価基準	事前学習・事後学習課題30点、授業内試験70点、合計100点				
試験・レポート等のフィードバック	授業内試験の解説は翌週の授業内で行う。				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習を欠かさないこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業目的・授業内容・授業形態等を理解しておくこと。
授業内容	授業目的、授業内容、到達目標、授業形態、テキスト、評価方法・基準、受講上の注意事項等について説明する。「家族とは何か」について考え、家族の「形態面の特色」「成員結合面の特色」「機能面の特色」、家族の集団性のゆらぎについて講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館 宮本みち子・清水新二編著2009『家族生活研究--家族の景色とその見方--』放送大学教育振興会

第2回	
事前学習	家族の範囲に関するアンケート（Googleフォーム）に回答すること。
授業内容	「家族分析の手がかり（1）」 家族と世帯の関係性や核家族概念について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館 岩間暁子・大和礼子ほか2015『問いから始める家族社会学』有斐閣

第3回	
事前学習	これまでに「海外の家族」の様子を見聞きして驚いた事柄を思い出し、文章化すること。もしそのような経験がない場合には、「自分の家族以外の（日本の）家族」の様子を見聞きして驚いた事柄について文章化すること。
授業内容	「家族分析の手がかり（2）」 家族の3類型について講義する。

事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館 落合恵美子・上野加代子2006『21世紀アジア家族』明石書店

#### 第4回

事前学習	前回の授業内容および配布資料を見直し、家族の3類型についての理解を深めておくこと。
授業内容	「家族分析の手がかり（3）」 家族の3分類および家族類型と家族分類の関連について講義する。
事後学習	配布されたプリントの空欄部分に適切な用語を記入すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館

#### 第5回

事前学習	結婚に対するあなた自身の考えを文章化しておくこと。
授業内容	「配偶者選択・結婚」 配偶者選択のメカニズムや未婚化・晩婚化・非婚化など結婚をめぐる今日の状況をあらわすトピックスについて講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	岩間暁子・大和礼子・田間泰子2015『問いからはじめる家族社会学』有斐閣 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

#### 第6回

事前学習	厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」の集計結果を見て、母子世帯と父子世帯にどのような状況の差異があるかを確認しておくこと。
授業内容	「離婚・再婚」 離婚や再婚の動向とその社会的背景、離婚家庭や再婚家庭が直面する生活課題について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	岩間暁子・大和礼子・田間泰子2015『問いからはじめる家族社会学』有斐閣 吉田あけみ・山根真理・杉井潤子編2005『ネットワークとしての家族』ミネルヴァ書房

#### 第7回

事前学習	高校生の時と現在を比較したとき、親子の役割分担や関係性において変化した点があればメモしておくこと。
授業内容	「ライフサイクル」 ライフサイクル、家族周期、発達課題といった概念の説明ならびにライフサイクルの研究方法的紹介をしたうえで、ライフサイクルの変化とその波及効果について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館

#### 第8回

事前学習	長期入院中の患者家族には、どのような支援が必要かを考えておくこと。
授業内容	「家族の危機」 家族危機の捉えかたや家族危機の要因連関モデルについて講義する。 事例の考察をペアないしグループで行う。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	森岡清美・望月嵩1997『新しい家族社会学』（四訂版）培風館 石原邦雄編著2004『家族のストレスとサポート』放送大学教育振興会

#### 第9回

事前学習	少子化の原因として考えられる事柄を文章化しておくこと。
授業内容	「少子化と家族」 少子化の現状とその要因について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	岩間暁子・大和礼子ほか2015『問いから始める家族社会学』有斐閣

#### 第10回

事前学習	子ども虐待の原因として考えられる事柄を文章化しておくこと。
授業内容	「子ども虐待（１）」 子ども虐待の現状、定義や類型について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	井上眞理子2005『ファミリー・バイオレンス』晃洋書房 川崎二三彦2010『子ども虐待ソーシャルワーク 転換点に立ち会う』明石書店

第11回	
事前学習	配布された新聞記事を読んで自分の考えをまとめておくこと。
授業内容	「子ども虐待（２）」 子ども虐待防止に関わる法制度の整備の歴史について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	井上眞理子2005『ファミリー・バイオレンス』晃洋書房 川崎二三彦2010『子ども虐待ソーシャルワーク 転換点に立ち会う』明石書店

第12回	
事前学習	厚生労働省「国民生活基礎調査」（介護票）の集計結果を見て、近年の高齢者介護の状況を確認しておくこと。
授業内容	「高齢化と家族、高齢者介護」 高齢化の現状、高齢者の家族形態の変化、家族による高齢者介護の現状と課題について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	永田夏来・松木洋人編2017『入門 家族社会学』新泉社 平山亮2017『介護する息子たち』勁草書房

第13回	
事前学習	総務省統計局「国勢調査」の集計結果を見て、世帯規模や世帯の家族類型の変化を確認しておくこと。
授業内容	「家族形態の変化」 核家族化と小家族化の動向と要因について講義する。
事後学習	本日の授業で新たに知ったことや考えたことを300字程度で文章化し、クラスプロファイルで提出すること。
参考文献	

第14回	
事前学習	これまでの授業内容全体を復習しておくこと。
授業内容	「振り返りと到達度の確認」 これまでの授業内容に関する補足説明と到達度の確認を目的とする授業内試験を行う。 授業を欠席し授業内試験を受けられなかった者には個別に対応する。
事後学習	到達度の確認後、理解不十分と思われたところを重点的に復習しておくこと。
参考文献	

第15回	
事前学習	家族にはどのような機能があるかを考えて文章化しておくこと。
授業内容	①家族機能の変化について講義する。 ②授業内試験の解説と授業全体の総括を行う。
事後学習	授業全体を振り返り、知識の定着を図ること。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;コDP-2&gt; 【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】 コミュニティ政策学に関する考え方や基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(1)&gt; コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(2)&gt; 講義科目で学んだ専門的な知識とサービラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p>
-----------	---

<コDP2-(3)>

地域社会の多様な場において、コミュニティ形成や課題解決に主体的に参画する態度・志向性を持っている。